

令和7年度 事務事業マネジメントシート		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価					1380	消防力整備事業				総務部	防災危機管理課
1 事業概要		中事業番号		993								所属コード	034100
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X 推進	手段	意図（目的）	
大綱（取組）	V「暮らしやすいまちの未来」	11.5 13.1		4-1							・消防団再編計画に基づき、車両とポンプ等を更新する。・市内の消防水利未整備地域に、地域の実情と必要性に応じ、消防水利を整備する。・消防団再編計画に基づき、老朽化した車庫詰所について、班の統廃合を考慮し、地元同意を得た箇所から整備を進める。	消防団の装備充実並びに消防水利施設の増強を進めるとともに、団員減少による消防体制の低下を防ぐため、隣接配置されている車庫詰所の統廃合を行い、本市の消防力の整備を図る。	
施策	2誰もが安心して快適に暮らせるまち												

事業開始時周辺環境（背景）	現状周辺環境	今後周辺環境（予測）	住民意向分析
・配置後20年経過の消防車両は、性能の衰えや故障が目立ち、活動に支障をきたすおそれがある。 ・消防水利が整備されていない地域の住民から、消防水利の設置を求められている。 ・局地的豪雨による河川の氾濫や土砂災害、火災発生に対応し、市民の生命、身体、財産を保護するため地域防災力強化の重要性が増大している。	・消防車両の更新により円滑な消防活動が期待される。 ・地域の安全安心が図られる消防水利の整備に対する要求は高い。 ・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の施行に伴い、消防団の装備の基準が改正され装備の充実が求められている。 ・消防団員の減少、高齢化が進んでいる。	・気候変動に伴い増大する自然災害リスクへの対応からも、地域の安全性確保の関心は高まっており、市民の本事業への要望はますます強くなると思われる。 ・少子高齢化や地域コミュニティ機能の低下等の要因により、地域防災の中核である消防団員の確保が困難になると思われる。	・消防水利は未整備地区町内会長等からの要望がある。 ・消防車庫詰所の統廃合に当たっては、地元町内会長等から自地域への設置、廃止車庫詰所の払下げや、早期の改築要望等がある。 ・多くの地域住民は消防団活動が地域の安全・防災に貢献していることを認識している。

2 事業進捗等（指標等推移）			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		2028年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	中間指標 2021年度	最終指標 2025年度
対象指標	各施設更新対象地区	地区		15		15		15								
活動指標①	消防車両等更新台数	台	8	8	8	6	6	6	3		3		3	8		
活動指標②	消火栓等新設基数	基	20	9	10	5	10	6	4		5		5	5		
活動指標③	消防車庫詰所の統廃合等件数	件	2	1	1	0	3	0	0		0		8	5		
成果指標①	消防車両等の使用可能台数	台	323	320	319	313	312	309	311		311		306	301	322	307
成果指標②	消火栓等設置数（延べ）	基	4,130	4,085	4,140	4,090	4,150	4,093	4,160		4,165		4,170	4,175	4,110	4,160
成果指標③	消防車庫詰所整備進捗率（目標詰所数 2030年度147か所）	%	80.3	80.3	82.1	82.1	84.0	83.0	84.0		84.0		87.5	90.2	79.0	86.0
単位コスト（総コストから算出）	1 地区あたりのコスト	千円		9,181		7,815		6,719	5,321		10,276		19,452			
単位コスト（所要一般財源から算出）	1 地区あたりのコスト	千円		4,627		3,315		2,245	1,578		5,276		14,728			
事業費		千円		133,567		112,229		95,153	75,671		150,000		291,775			
人件費		千円		4,144		4,992		5,626	4,144		4,144		4,144			
歳出計（総事業費）		千円		137,711		117,221		100,779	79,815		154,144		295,919	157,000		
国・県支出金		千円							780							
市債		千円		68,312		67,500		67,100	52,200		75,000		75,000	130,000		
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円														
その他		千円							3,160							
一般財源等		千円		69,399		49,721		33,679	23,675		79,144		220,919	27,000		
歳入計		千円		137,711		117,221		100,779	79,815		154,144		295,919	157,000		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続		継続						

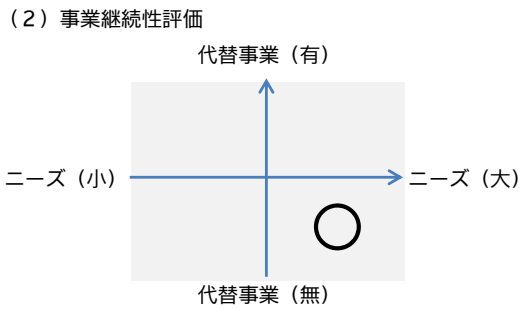
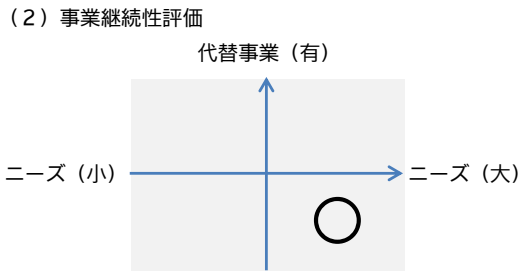
活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費（事業費・人件費）分析結果
・消防車両等の更新は、計画に基づきポンプ車2台、積載車4台を更新した。 ・消防水利の整備は、地域の実情と必要性に応じ消火栓6基を新設した。 ・消防車庫詰所の統廃合は、計画に基づき、車庫詰所2棟を廃止した。	・消防車両等の更新については計画どおり整備され、消防体制の強化と消防力の整備が図られた。 ・消火栓等の新設については、要望箇所等への設置の可否等を精査結果に基づく設置となった。 ・消防車庫詰所の統廃合は、各地区隊の意見及び地元町内会等の同意を踏まえ計画的に進めていく。	【事業費】【前年度比較（主な事業）】 ・消防車両等更新事業（▲2,013千円） ・消火栓新設事業（▲28千円）  【人件費】【増加理由】 ・消防団の装備等の充実強化に係る事務量の増加

### 3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価			
1 規模・方法の妥当性		4	
2 公平性		4	
3 効率性		4	
4 活動指標（活動達成度）		3	
5 成果指標（目的達成度）		4	

### 4 二次評価

(1) 事業手法評価			
1 規模・方法の妥当性		4	
2 公平性		4	
3 効率性		4	
4 活動指標（活動達成度）		3	
5 成果指標（目的達成度）		4	



継続	一次評価コメント
市内15地区の消防車両等の更新及び消防水利の設置は、消防車両整備計画や地区要望等に基づき概ね計画どおり実施できた。 地域防災の中核を担う消防団の装備等を充実強化することにより、気候変動に伴う自然災害リスクへの対応をはじめ、地域防災力の向上に寄与することから、継続して事業を実施する。	

継続	二次評価コメント
令和6年度は、消防車庫詰所2棟を廃止したことにより、整備進捗率も前年度と比べ向上した。消防車両等更新については計画通り実施するとともに、詰所の廃止に伴い車両の廃止も併せて実施するなど、適切な台数の配備に努めたところである。 消防力の整備は市民の安全安心な暮らしの保持に不可欠であることから、郡山市消防団再編計画等に則り効率的な事業推進に努め、継続して事業を実施する。	

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
○		

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画